

700回大遠忌をお迎えして  
深めてみましょう～瑩山禪師さま～

令和6年2月14日  
徳本寺住職 早坂文明

**瑩山禪師略年譜**

- 【生誕】文永元年（1264）10月8日（陽暦11月21日）越前の国（前 福井県武生市）瓜生家  
母 懐観大姉 37歳の子 幼名：行生
- 【8歳】文永8年（1271）永平寺で沙弥として修行
- 【13歳】建治2年（1276）永平寺第2世弧雲懐奘の下で得度 瑩山紹瑾となる
- 【19歳】弘安5年（1282）諸国行脚
- 【21歳】弘安7年（1284）永平寺に戻る
- 【22歳】弘安8年（1285）永平寺第3世徹通義介について大乘寺（石川県金沢市）に入る
- 【27歳】正応3年（1290）伝衣授受 徹通義介より「平常心是道について」問われ 「喫茶喫飯」の境涯を示す
- 【28歳】正応4年（1291）城満寺（徳島県）を開山 70余名の弟子を育てる
- 【35歳】永仁6年（1298）大乘寺第2世住職となる
- 【50歳】正和2年（1313）永光寺（石川県羽咋市）を開山 海野三郎夫妻より土地を寄進さる
- 【58歳】元亨元年（1321）總持寺に入寺  
瑞夢：櫛比莊（くしひのしょう）の諸丘寺の住職に迎えられ「總持の一門 八字に打開す」  
と言うと観音さまが現れた  
諸丘寺の住職定賢律師も夢に観音さまが現れ「瑩山という高僧に寺を譲って復興してもらおう  
がいい」と告げられた  
諸丘→諸嶽山 總持寺
- 【59歳】元亨2年（1322）後醍醐天皇より「日本曹洞紫賜出世道場」の綸旨を賜る
- 【61歳】正中元年（1324）總持寺を峨山韶碩に譲り永光寺へ
- 【62歳】正中2年（1325）8月15日（陽暦9月29日）永光寺にて大衆を集め最期の説法をし、遺偈を認め夜半遷化

**瑩山禪師遺偈**

- 自耕自作閑田地 （自ら耕し自ら作る閑田地）
- 幾度売来買去新 （幾度か売り来たり買い去り新たなり）
- 無限靈苗種熟脱 （限り無き靈苗 種 熟脱し）
- 法堂上見挿鋤人 （法堂上に鋤を挿<sup>さしはさ</sup>む人を見る）